

祝 詞



「継続は力なり」

関西大学体育OB会

会 長 福本 昌三

創部50周年おめでとうございます。半世紀にわたって、レスリング部の輝かしい歴史と伝統を作られた関係者の皆様から敬意を表します。創部の素地は昭和10年頃にすでに台頭しておったようですが、第2次世界大戦のために中断され、昭和23年の大学予科最終年に、安川、宇賀、木村、東條氏などが入学され、関西大学レスリング部が呱呱の声をあげたと承っております。いまは亡き、レスリング部OB会の、山本雅之元会長ともどもに、彼ら精鋭たちが歴史的な第一歩を踏みだし、戦後の関大スポーツ史に燦然と輝く黄金時代を築かれましたことは誠に同慶の至りです。

戦後間もなく国民の経済状況も過酷な時代に、学業に専念することすら困難であった日々を、練習に励んだ当時の選手たちの姿には心うたれる思いです。大方の部員がアルバイトでの学費の捻出に懸命ななか、その一部を供出して、進駐軍の中古マットを練習用に購入するというエピソードを仄聞していますが、汗水ながして「マット」を入手したときの喜びのいかほどかは、想像を絶するものがあります。この艱難辛苦を乗り越えながら精根をかたむけて練習に励まれた当時の伝統が語り継がれて、実を結んで、たくましい名選手を数多く輩出したのでありましょう。

当時はレスリング界の“ドン”八田一朗会長のカリスマ的な指導によって、オリンピック大会に優秀な成績を収め、日本のレスリングは燃えに燃えた時代でした。その間、多数の関西大学の選手

たちも日本代表として国際大会で活躍しています。なかでも東京オリンピック大会では市口政光選手が金メダリストとなって、大いに関西大学の名を世界に広めてくれました。このように国際的に卓越した実績を樹立した部は、関大体育会に類例がありません。関西大学体育史にも大いなる足跡をのこし、その名声を世界に轟かせてくれたレスリング部の存在は、関西大学並びに体育会の名誉と誇りとするところであります。

残念ながら、昭和44年の学園紛争以来、体育会の衰退は目を覆うばかりで、レスリング部もかりです。昭和45年には「体育推薦入学制度」が廃止され、この20数年間にわたって、一部を除いて、まったく淋しいかぎりでした。しかしながら昨今では「スポーツ推薦入学制度」が復活して、大学当局の理解も得られつつあります。とはいっても、主要他大学に比べて、現在のところ微々たる推薦枠しかありません。この機会に、文武両道の優秀な学生を多数にわたって迎えるために、スポーツ推薦入学制度が、他大学に伍して発展することを願ってやみません。

そして体育会の現役諸君のすべてが、レスリング部OB諸氏の作られた輝かしい伝統に触発されて、「やればできるのだ」という自覚のもとに進進されんことを期待しております。「継続は力なり」といいますが、現役諸君の大いなる奮起を期待し、更に、関西大学の発展とともに、レスリング部のこれからの飛躍を念願しております。